

令和5年度 学院運営評価調査

評価項目	(1)-7 即戦力となる人材の育成【2年生を対象】
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な現場作業を安全かつ的確に行う技術を有している ○川上から川下まで産業全体の基礎知識を有している ○就業後に必要な資格を取得している

1-1 目標等の設定 (Plan)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・即戦力となる人材を育成するためには、林業・木材産業の基礎から応用まで幅広い知識や現場で対応できる技術について習得させる必要がある。 ・学院の卒業生が就業先で即戦力として働くためには、現場作業で必要となる各種資格等を取得した上で、実習を反復練習し、技術の定着を図る必要がある。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が修学期間中にカリキュラムに定められている全ての単位を取得し卒業できるよう、必要に応じて補講や個別指導等を行いながら教育活動を計画的に進める。 ・生徒の資格取得を促進するとともに、引き続き、実習補助員の確保、生徒が進路に応じて就業先の現場に必要な知識・技術を習得できるよう、企業等と連携し、林業機械のメンテナンス技術やマーケティング手法などの会社経営に必要な知識を習得する講義を実施するなどの改善を図る。

1-2 取組の結果 (Do & Check)

実績と成果等		定性評価

2-1 成果指標の設定 (Plan)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
資格取得率	年度値	R4 100%	年度値	R5 100%	年度 R5	
[指標の説明] 現場作業を安全かつ適確に行うために最低限必要な8以上の資格等を取得した生徒の割合	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

2-2 成果指標の達成度合 (Do & Check)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
就職率	年度値	R4 100%	年度値	R5 100%	年度 R5	
[指標の説明] 道内の林業・木材産業に就業した生徒の割合	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

3-1 一次評価 (Do & Check)

4 改善策 (Action)

定性評価	定量評価	総合評価	対応方針

3-2 二次評価 (Do & Check)

評価項目	評価	意見
1 実施方法 改善策を踏まえた目標や成果指標が適切に設定をされているか。		
2 取組内容 目標等の達成に向けた取組みは適切か。		
3 改善策 改善策は適切に立てられているか。		

令和5年度 学院運営評価調査

評価項目	(1)-イ 企業等の中核を担う人材の育成【2年生を対象】
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ○現場の統括管理や労働安全衛生、新たな技術による生産性向上など指導や企業経営マネジメントなどに関する知識を有している ○林業・木材産業等の魅力を発信できる能力を有している ○対話や情報分析を通じ地域の活性化に貢献する能力を有している

1-1 目標等の設定 (Plan)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等の中核を担う人材を育成するためには、企業経営に関するマネジメントや安全管理等に関する知識について習得させる必要がある。 ・森林づくりのビジョンや林業等の魅力を発信できる人材を育成するためには、生徒が実践的な知識・技術を習得するとともに、自ら考え行動できるよう教育活動を進める必要がある。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・林業経営者や林業機械メーカーの安全管理責任者等の外部講師を招聘し、専門的な見地から経営理念や安全管理に関する知識を習得できるよう講義や実習を行うとともに、企業や生徒の意見を踏まえ、カリキュラムの充実を図る。 ・「総合選択実習」に森林ボランティアや、イベント出展などの木育活動等を行う「地域活性化」と企業会計・マーケティングの講義、経営計画作成の実習等を行う「経営者育成」の2コースを新たに開講する。

1-2 取組の結果 (Do & Check)

実績と成果等		定性評価

2-1 成果指標の設定 (Plan)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度値	R4	年度値	R5		
成績優秀者の割合		47%		50%	年度 R5	
[指標の説明] 「林業経営」の分野において成績評価が「良」(70~79点)以上を得た生徒の割合	増減方向	達成率の算式		目標値		
	増加	(実績値/目標値)×100		実績値		
				達成率		

2-2 成果指標の達成度合 (Do & Check)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度値	R4	年度値	R5		
成績優秀者の割合		89%		50%	年度 R5	
[指標の説明] 総合選択実習において成績評価が「良」(70~79点)以上を得た生徒の割合	増減方向	達成率の算式		目標値		
	増加	(実績値/目標値)×100		実績値		
				達成率		

3-1 一次評価 (Do & Check)

4 改善策 (Action)

定性評価	定量評価	総合評価	対応方針

3-2 二次評価 (Do & Check)

評価項目	評価	意見
1 実施方法 改善策を踏まえた目標や成果指標が適切に設定をされているか。		
2 取組内容 目標等の達成に向けた取組みは適切か。		
3 改善策 改善策は適切に立てられているか。		

令和5年度 学院運営評価調査

評価項目	(2)身につけるべき能力を習得するための教育課程
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ○森林調査・情報活用、林業経営、野生動物管理などの確かな森林調査・プランニング力を習得する課程となっている ○育林技術、高性能林業機械などの機械操作・路網整備、森林保全など確かな森林施業の実践力を習得する課程となっている ○森林活用、木育、木材の加工・利用など森林・林業の活用力を習得する課程となっている ○コミュニケーションや合意形成、環境配慮、SDGsなど業務を円滑に進める行動力を習得する課程となっている

1-1 目標等の設定 (Plan)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対し卒業に必要な単位数を確実に取得させる必要がある。 ・教育課程に関するアンケート調査の結果を踏まえ、林業機械等の実習に係る生徒の待ち時間を短縮し、一人当たりの練習量を確保する必要がある。 ・フィンランドのリバリア林業専門学校との覚書に基づき、林業教育の充実を図るとともに、国際感覚を身につけた人材を育成する必要がある。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度教育計画に従って、授業を計画的かつ適切に実施する。 ・就職分野に応じた知識・技術を効果的に習得するため、企業等の意見なども踏まえより専門的な知識を学ぶことができる選択科目等の開発を図る。 ・グループ単位で実習を行うなど、少人数の班による実施体制を整え、実習を効率的に実施する。 ・リバリア林業専門学校と連携し、教育プログラムの開発や海外研修等に取り組むとともに、高性能林業機械シミュレーター競技大会を開催するなど教育内容の充実を図る。

1-2 取組の結果 (Do & Check)

実績と成果等		定性評価

2-1 成果指標の設定 (Plan)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度値	R4	年度値	R5		
生徒の授業満足度評価		86%		70%	年度 R5	
〔指標の説明〕 授業内容に関するアンケートにおいて、「概ね満足」以上と回答した生徒の割合	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

2-2 成果指標の達成度合 (Do & Check)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度値	R4	年度値	R5		
企業等の運営評価		-		70%	年度 R5	
〔指標の説明〕 企業へのアンケート調査において、学院運営に対する評価を「概ね適切」と回答した者の割合	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

3-1 一次評価 (Do & Check)

4 改善策 (Action)

定性評価	定量評価	総合評価	対応方針

3-2 二次評価 (Do & Check)

評価項目	評価	意見
1 実施方法 改善策を踏まえた目標や成果指標が適切に設定をされているか。		
2 取組内容 目標等の達成に向けた取組みは適切か。		
3 改善策 改善策は適切に立てられているか。		

令和5年度 学院運営評価調査

評価項目	(3)能力のある生徒の受け入れ
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な思考力・判断力・表現力や文章の理解・作成力がある者を受け入れている ○北海道の林業・木材産業への強い関心がある者を受け入れている ○社会人や道内外からの入学者など多様な人材を確保している

1-1 目標等の設定 (Plan)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の実績を踏まえ、入学試験を適切に実施するとともに、オンラインなどのツールを活用し、道内外向けの学院説明会を積極的に開催するなど学院の魅力を広く発信し、これまで以上に幅広く人材を確保する必要がある。 ・今後の道内高校生の減少を見据え、これまで以上に幅広く人材を確保する必要がある。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他府県の林業大学校との差別化を図るため、林業先進国フィンランドでの研修をはじめ、シミュレーターによる高性能林業機械の操作実習など独自のカリキュラムなどを道内外に広く発信する。 ・社会人経験者の受験機会を確保するため、5年以上の職務経験のある方については、筆記試験を行わず、オンライン面接のみによる選考とするなど新たに導入し、入学者の確保を図る。 ・農業高校や入学者の実績がある高校などとの連携を一層強化する。 ・卒業生の就業後の活躍などを社会人に向けて発信する。

1-2 取組の結果 (Do & Check)

実績と成果等		定性評価

2-1 成果指標の設定 (Plan)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度	R4	年度	R5		
入学者数	年度	34人	年度	40人	年度	R5
〔指標の説明〕 当学院の入学者数	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

2-2 成果指標の達成度合 (Do & Check)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
	年度	R4	年度	R5		
多様な人材の入学者数	年度	11%	年度	11%	年度	R5
〔指標の説明〕 入学者に占める社会人や道外出身者の割合	増減方向	達成率の算式			目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	
					達成率	

3-1 一次評価 (Do & Check)

4 改善策 (Action)

定性評価	定量評価	総合評価	対応方針

3-2 二次評価 (Do & Check)

評価項目	評価	意見
1 実施方法 改善策を踏まえた目標や成果指標が適切に設定をされているか。		
2 取組内容 目標等の達成に向けた取組みは適切か。		
3 改善策 改善策は適切に立てられているか。		

令和5年度 学院運営評価調査

評価項目	(4)学院の適切な運営
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ○社会のニーズを踏まえた教育環境を整備している ○教育活動等に関する情報を公開している ○就職に関する支援体制を整備している ○学院の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を行っている ○生徒生活に対する支援体制を整備している ○卒業生に対するフォローや連携等を行う体制を整備している

1-1 目標等の設定 (Plan)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・出席日数や成績評価など生徒や教職員の利便性を高めるため、効率的な学院運営ができる環境を整える必要がある。 ・学校生活や運営状況等を広く周知するため、保護者や関係機関への情報発信が必要である。 ・卒業生を道内の林業・木材産業に着実に就業させ、定着を図る必要がある。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズを踏まえた教育環境を支援するシステムを活用し、学院の運営を行う。 ・学院の教育活動に関する情報をSNS等により発信するとともに、定期刊行物や情報誌への寄稿を積極的に行う。 ・無料職業紹介事業の着実な実施や面接指導等を通じて、生徒の就職先を確保する。 ・卒業生の就業後の状況等を調査し、必要に応じて指導・助言を行う。

1-2 取組の結果 (Do & Check)

実績と成果等		定性評価

2-1 成果指標の設定 (Plan)

2-2 成果指標の達成度合 (Do & Check)

指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
定期的な情報発信	年度 値	R4 1.2万回	年度 値	R5 1.2万回	年度 R5	
〔指標の説明〕 学院の公式SNSで発信した学院運営に関する情報の閲覧回数	増減方向		達成率の算式		目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	達成率	
指標名	実績		目標		定量評価	評価分析ほか
学院に対する満足度	年度 値	R4 92%	年度 値	R5 80%	年度 R5	
〔指標の説明〕 生徒へのアンケート調査において、学院運営に対する満足度を「概ね満足」と回答した者の割合	増減方向		達成率の算式		目標値	
	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	達成率	

3-1 一次評価 (Do & Check)

4 改善策 (Action)

定性評価	定量評価	総合評価	対応方針

3-2 二次評価 (Do & Check)

評価項目	評価	意見
1 実施方法 改善策を踏まえた目標や成果指標が適切に設定をされているか。		
2 取組内容 目標等の達成に向けた取組みは適切か。		
3 改善策 改善策は適切に立てられているか。		